

深川消防団ニュース



さきもり

発行 深川消防団

所在地 〒135-0042
東京都江東区木場
3丁目18番地10号
深川消防団本部

TEL:03-3642-0119
FAX:03-3641-4422

◆新団長に増茂洋之進氏(前副団長)が就任◆



区長室での引き継ぎ

去る3月7日(火)深川消防団幹部会議が開催され、唐鎌前団長の退任に伴い、後任の第9代深川消防団長に満場一致で副団長の増茂洋之進氏(第十分団出身)が推挙されました。これを受けて4月10日(月)14時から江東区役所において、室橋江東区長より新団長の委嘱が行われました。

の違いなどに戸惑いながらも選手が一致団結して、取り組みました。当分団では「全団員に消防



宇迦八幡宮にて新ポンプと

理解してほしい」との願いから、なるべく新人団員を選手に起用するよう努めています。毎年、選手はメダル獲得への意欲はもちろんですが、新人選手が練習に励み操法を体得することが、大会の本質だと思っています。

消防線法に

初参加して・・・

第一分団 班長 長谷川 祐二

我が分団は、小林淑郎新分団長のもと全団員が消防操法を通して、高い士気、正しい規律、迅速な行動、確実な動作、機械器具の精通・愛護、チームワーク等を経験する事が操法での受傷事故を防止すると共に災害時における地域の防災リーダーとしての行動に繋がると信じ頑張っております。

今年、「指揮者」が8年目

「1番員・2番員」が2年目

「3番員・4番員」が1年目

当分団は、新人団員を優先に選手に起用し練習に励み操法を体得してもらう事に

可搬ポンプが新しく

なった第二分団

第二分団 団員 釵先 美彦

第二分団の可搬ポンプが新しくなりました。3月21日(春分の日)の祭日に、日頃お世話になっている八ヶ町の町会長をお招きして、末永く地域の防災に役立つもらう為、宇迦八幡宮にて安全祈願の御祓いをしました。

分団長の記憶にないほど久しぶりのポンプの入替え、団員も喜びを隠せず笑顔いっぱいのおやかな御祓いになりました。操法大会の練習は、前ポンプとの装備等

消防操法大会の

訓練に励む団員!!

◆◆◆
今年も深川消防団都大会出場

今年も消防操法大会が5月21日(日)に行われます。

さらには深川消防団が10月の都大会に出場します、各分団一斉に消防操法大会に向けて訓練を開始しました。練習に励んでいる分団から記事が編集部が届いていますので、紹介します。

増茂団長抱負を語る

増茂団長ロングインタビュー

この度、団長に就任されました増茂洋之進氏に、深川消防団に対してのお考えをお聞きいたしました。

— 深川消防団への団長としての抱負をお聞かせ下さい。

深川消防団が創設されて以来、多くの諸先輩方が築いてきた伝統を守りながら深川消防団が一致団結し、ますます深川消防団が発展するよう努めて行きたいと思っております。

— 具体的にはどのような事をやりたいのでしょうか。

団本部及び、10個分団ある各分団とのそれぞれの交流をはかり、団員間の相互の意志疎通を密にし、災害時における深川消防団の活動を強固なものにしたいと思っております。

この事を実現するために、徐々に深川消防署との連携の上で多様な行動をとる事を今考えています。まだ具体的なものはありませんが、少しづつ実行して行きます。その際には団員の皆様にご無理をお願ひする事も有るかと思ひますが、ご理解の上ご協力をお願いします。

— 分かりました。他にございませんか。

そうですね。我々消防団員にとって重要な事として、地域住民に消防団の活動・仕事を、もつともつと理解してもらえよう努力しなければならぬと思います。我々団員は言わば地域の代表として消防団活動を行ってしか、

地域密着の消防活動の場にいるわけですから必然的に地域の防災リーダーとしての地位を確立しなければならぬと思ひます。そのためにも、地域に消防団の事を理解してもらおう行動を団員の皆様にも願ひしたいと思ひます。

— 今年には消防操法の都大会に深川消防団が出場しますが。

— そうなんです。今年には我が深川消防団が都大会に出場するわけですが、是非一番の結果を期待したいものです。

— 団長としての私の都大会への強い想いです。そこで、深川消防団の操法大会の結果を見て出場隊の人選を決め、10月の都大会へ備えて行きたいと思ひます。良い結果が出る様に訓練計画を練って深川消防団ここに在りとの存在感を示したいと考えております。

— 選手になる団員、訓練支援をする団員と団員の皆様にはご迷惑をおかけすると思ひますが、お許しを願ひ目的を達成したいと思ひます。

— とところで、入団の動機はどのような事だったのでしょうか。

私の住む地域の先輩に、今思うと甘い誘いの言葉(年3回の出席でいい)を受け入れて入団しました。その後、地元十分団で消防団の活動が始まりました。現在に至る消防団での活動に役立っていると言つても過言ではないと思ひます。

— ようか。

基本的には、理解していると思ひます??????

— お仕事は何をなさっておりますか。

牛乳店を営み、毎日早朝2時半から牛乳を配達しています。

— 趣味は何でしょうか。

少年野球の指導です。東雲メッツというチームの代表を努め、地域の少年育成に励んでおります。

— 色々とお聞かせ頂き有り難うございました。これからの団長のご活躍に期待致します。

「インタビューして、感じました事は増茂団長は深川消防団を一生懸命考え、消防団無くしては生きがいを感ぜないと言う、言わば消防団こそ自分の命そのものであるとの思いが伝わってきました。」

編集委員

- 第三分団 団員 阿部 光城
- 第四分団 団員 皆川 義則

四月一日付 団幹部の人事異動

- 団長 増茂 洋之進
- 副団長 岩崎 勝
- 副団長 今井 一夫
- 副団長 宮坂 忠之
- 副団長 宮内 保夫

1面より
より、分団と地元町会や消防署との連携強化につながり、いつ災害が発生しても対応出来るように努力して、これも消防操法大会の意義の一つではないでしょうか。

私も、4番員として出場できるのは、「練習を支えてくれる各分団員の努力」「指導して頂く消防署の方々のお力」「地元町会のご理解」があればこそと思ひました。

更に猿江公園に来て練習風景を見た人々の中から入団希望者が増える事を期待しています。

七連覇目指して...

第八分団 班長 庄井 勤
第八分団では7連覇を目指し、少ない訓練日をやりくりし、練習しております。今年、町野との切り替え時期ということもあるのか、ホースの支給がなく、また、古くなって穴があいていたり、行方不明になったりして、ホースの確保に大変苦労しました。

◆新分団長の挨拶◆

▼団本部 分団長 飯田 歳樹

▼団本部分団長の拜命を受け、重責に気持ち新たに消防、防災に対し時間の許す限り努力する所存です。

▼第一分団 分団長 小林 淑郎

▼新分団長としての「責務を果たす」よう努力致しますと共に、各団員の消防団活動が円滑に行えるよう、手助けが出来

れば幸いです。各分団の団員の皆様、今後とも宜しく
お願い致します。

▼第四分団 分団長 岡本 繁

4月に、新分団長に任命され始めての
行事として水防訓練に出勤し5月21日の
消防操法大会の練習に日々励んでいます。
また、団員が従来通りに活発に出勤し
てくれている事に感謝の気持ちを忘れず
にこれからの団活動を今まで以上に努力
していきます。

▼第五分団 分団長 大森 稔

私大森、先輩の行方分団長が退団され
るにあたって後任の分団長を拜命致しま
した。これからも先輩分団長の方々が築
かれた、明るく楽しい五分団を微力なが
ら勤めさせて頂きますので今までと変わ
らぬご指導、鞭撻の程よろしくお願い申
上げます。

▼第七分団 分団長 内藤 健一郎

私、今井前分団長の後任として分団長
に任命されました。
団活動では、団員全員の協力を得ながら
一生懸命に頑張りたいと思っております
今後共、宜しくお願い致します。

▼第八分団 分団長 川崎 重武

このほど伝統と実績のある第八分団の
分団長を前横山分団長の後を引き継ぎ、
あらためて重責を感じています。今後とも
地域の防災の安心、安全のため今後とも
防災活動に一生懸命、分団員共に頑張り
ますのでよろしくお願いいたします。

女性消防団員会議及び懇親会が行われました

【期日・2月9日(木)／場所・東陽町ビスタホテル】

第六分団 部長 形屋 幸子

18年2月9日(木)東陽町ビスタホテルにおい
て、女性消防団員会議及び懇親会が行なわれ28名
中24名の出席があり高橋署長始め唐鎌前団長、団
本部、及び各分団長をお招きし、今年で8回目を
迎えた会も、盛会裡に終り、友好を深め楽しい一
時を過ごしました。

消防団員として15年団活動の中で多くの人と出
会い、多くの友を得て、色々な行事に参加し大き
な財産を戴いています。



懇親会での一コマ

その行事の一つエ
キシビジョンとして
平成10年、12年の3
年間女性団員のみで
参加した消防操法大
会です。

女性にも出来るの
ではと、六分団の女
性団員から希望がで
て当時の馬場署長や
警防課長に請願し、
実現することになり
ました。

当時女性団員が10余名足らずの中で、九分団藤原
団員(現消防署員)、十分団(現九分団)佐藤団員
にお手伝いいただき、男性選手と共同で遅くまで
高速下や豊洲で訓練しその間署員や団本部の方々
にご指導いただき、無事ケガもなく3年間参加す
ることができいい思い出になっています。

現在では、男性団員と共に、選手の一人として
操法大会に出場し、男性に劣らずの活躍で頼もし
い限りです。

女性でも出来る事、女性にしか出来ない事をモ
ットーに地域防災のリーダーとなる為ますます、
若い方達が入団し活気溢れる消防団になっていく
事を願っています。

消防団 知識

災害現場での水分補給について

災害現場でよく水分を補給するようにと、言われますがどうし
て何でしょうか。それは、熱中症を防ぐことが大きな意味合い
となっておりです。そこで今回は災害現場での熱中症とその原
因、予防法及び対応について述べさせて頂きます。

1 熱中症とは

熱中症とは、熱けいれん、熱疲労、熱射病に分けられる。一
般に熱けいれんは体温上昇を伴わないか、あっても軽度である
が、熱疲労、熱射病では中等度・高度の体温上昇を伴う。これ
らを高温多湿下で生じる身体熱性障害を総称したもので熱中症
と言う。

2 起こさないようにするには

- 熱中症になりやすい要因
 - ・ 脱水(汗をかく)
 - ・ 重く通気性の悪い服(防火衣、防火帽、長靴)
 - ・ 睡眠不足
 - ・ アルコール(二日酔い)以上などがあります。
- この要因を排除するのが一番ですが、災害現場等
では排除できない部分もあります。
- 起こさないようにするには
 - ・ 体力をつける
 - ・ アルコールは控えめ
 - ・ 規則正しい食生活(睡眠も含む)

災害現場では、こまめにスポーツドリンク等の補給と休憩をと
ること。体に異変(めまい、しびれ等)を感じたら我慢するこ
となく活動を中断し、団員若しくは署員に知らせること。

3 起きたらどうする(熱中症の対応)

- 発汗が停止し皮膚は乾燥、体温は上昇してきます。40℃以上
は重症で死亡率も高く、早急に救命処置が必要になって
きます。救急車が到着するまでの間は涼しい場所に
移動させ、スポーツドリンク等で水分補給をさ
せます。意識障害や嘔吐がある場合は無理に
飲ませる必要はありません。
- 衣服は脱がせ、水を含ませたスポンジ等で
全身を濡らし続けます。首や腋の下、足のつ
けねを水で冷やすのも効果的です。



表彰者の紹介

平成十八年五月までの

◆日本消防協会表彰(精績章)(二月)

第六分団 副分団長 菊池 哲

◆日本消防協会表彰(勤続章)(二月)

第一分団 前分団長 佐藤 叔孝

第一分団 副分団長 正木 秀治

第一分団 部長 佐藤 健一

第四分団 部長 深谷 眞一

第四分団 部長 松川徳二郎

第四分団 部長 佐々木正広

第五分団 部長 橋本 篤彦

第七分団 副分団長 椎名 貞雄

第七分団 部長 阿曾 昌司

第九分団 団員 佐藤 公男

第十分団 分団長 小安 勤

◆消防庁長官表彰(水年勤続功労章)(三月)

第五分団 前分団長 行方昭治郎

◆東京都消防協会表彰(功労表彰)(三月)

第三分団 副分団長 赤澤 光幸

第六分団 副分団長 平山 敏博

◆東京都消防協会表彰(優良表彰)(三月)

第二分団 部長 重田 富雄

第二分団 班長 佐竹 哲治

第二分団 班長 寺腰 仁

第三分団 班長 出口 和晴

第八分団 部長 山下 勝義

第八分団 班長 庄井 勤

◆深川消防署長表彰(消防活動功労)(四月)

平成18年3月10日江東区辰巳1丁目5番

17号で発生した火災に対する消防活動功労

第九分団 第十分団

四月一日付 人事異動による 消防署の指導者紹介

警防課

課長

沖田 治雄 殿

防災係長

山崎 正雄 殿

防災係

主任(毎日)

菊池 幸夫 殿

主任(二部担当)

森下 安司 殿

主任(一部担当)

菅井 則行 殿

主任(三部担当)

東出 勇一 殿



深川消防団員募集中!!

女性・勤務者・学生の方大歓迎

入団資格 ● 心身ともに健康で、十八歳以上の方

● 消防団の区域内に居住、又は勤務の方

お問い合わせ ● 深川消防団本部(深川消防署内)

電話 〇三(三六四二)〇二一九

体力錬成会(ボーリング大会)が開催されました!

【期日/2月19日】【場所/ドウ・スポーツプラザ晴海】

成績発表

団体の部		個人の部 優勝	
優勝	第七分団 (@二二三・八点)	二十歳代	第六分団 平山竜博(二七七点)
準優勝	第九分団 (@二二三・八点)	三十歳代	第三分団 木本昌次(三三〇点)
第三位	第四分団 (@二二三・四点)	四十歳代	第九分団 森田嘉智(三五一一点)
		五十歳代	第七分団 佐藤健一(三六六六点)
		六十歳代	第六分団 形屋憲一(三三八八点)

私のすきな事シリーズ①

初回にご登場をお願い致しました 沖田治雄さんを、ご紹介致します。

深川消防署警防課長として我々消防団には日頃団活動に対して、指導、アドバイス等頂いて居ります。

又、東京消防庁体育文化会釣魚部会長として活躍しておられます。

沖田さんは、葛飾柴又・江戸川に近い所で生れ五才の時から祖父(川漁師)に釣りの英才教育を受け今日に至っており、子供の頃は江戸川で毎日、鮒・鯉・鮎等の川魚を釣り今日では、海釣りを主体にどんな釣りにも対応できる全天候型の釣師として自負(?)していらっしやいます。

「沖田さんのコメント」

どなたでも仕事を持っていれば一緒ですが、私も職務上、毎日が緊張の中での生活です。ストレス、緊張を取り除くのは好きな事を好きな様にやると云う気持ちをもつことが大事なことです。

仲間と釣果を気にせずのんびり、和気あいあいと、一日を楽しく過ごすことが出来れば幸いです。

これからも、益々釣道に精進して、興義をきわめてみたいものです。

釣りの好きな方

お茶(?)でも飲みながら釣りについて語りませんか。

連絡先 団本部・宮内副団長

自宅3641・4715

携帯080・11111・18017

編集後記

新年度を迎え、団長はじめ消防団幹部等の人事も改まり、これからの深川消防団の活動にも新たな期待を持つ事となりました。

毎年恒例の消防操法大会に向けて各分団、訓練に励み深川消防団消防操法大会での成果が充分に出す事が出来たのではないかと思います。

今年には都大会の出場が決まっている我が深川消防団の奮闘を期待するものであります。

これに合わせるものではありませんが、「さきもり」編集にも編集委員一同、力を込めて頑張っております。団員の皆様編集委員にご協力お願いします。